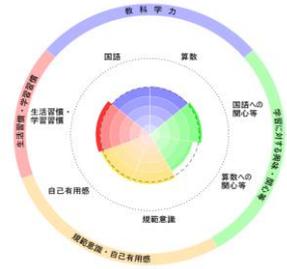


(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果 ●:課題)	対策
国語	○国語への関心・意欲・態度をみる問題の正答率が高い。 ○話すこと・聞くこと、書くことに関する問題の正答率が高く、記述式問題の正答率も高い。 ●読むことに関する問題の正答率が低い。 ●同音異義語や「目的に応じて、本や文章を全体を概観して効果的に読む」問題の正答率が島根県、全国の正答率との差が大きい。	・文章の構成や主語や述語の関係を意識して読んだりいろいろな文章を比較したりする学習を機会を見て行い文章を分析する力を育てる。 ・語彙力を高め、知識を構造化する必要がある。そのために、国語辞書を活用することを日常化した読書活動を推奨していく。
算数	○図形、グラフの読み取りに関する問題の正答率が高い。 ○数学的な考え方に関する問題の正答率が島根県より高い。 ●数と計算、数量関係に関する問題の正答率が島根県、全国の正答率より低い。 ●式の意味の理解、必要な数量を選び立式する問題の正答率が島根県、全国の正答率との差が大きい。	・数量の関係を具体的・視覚的にとらえながら意味を理解する学習を充実させるとともに、その関係を数直線上に表すなど、式と図とを関連づける学習を充実する。 ・公式を覚える学習から、公式を子どもたちでつくりだしたり、その意味を考えたりする学習を工夫する。

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）

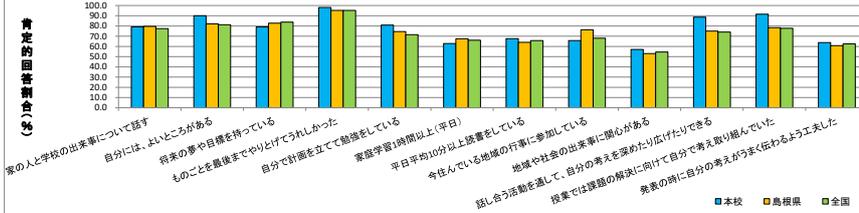


(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと  
 ・学習内容の基礎的な部分の定着に向けて、どの子にもわかる・できる授業と考えることが楽しいと感じる授業を目指す。また、月一回行っている「書き取り会」「計算会」がより効果的な取り組みとなるよう工夫し、学校全体で学力の向上を目指す。  
 ・本校のスローガンにもある「あいせつ」の充実ほもとより、人権意識や規範意識の向上とメディアコントロール、基本的な生活習慣を身につけさせる。

(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果 ●:課題)	対策
	○基本的な生活習慣、自己肯定感に関する質問に対して肯定的な回答をしている児童の割合が高い。 ○話し合いに関する質問に対して肯定的な回答をしている児童の割合が高い。 ●算数への意欲、取り組みに関する質問に肯定的な回答をしている児童の割合が低い。 ●地域の行事への参加に関する質問に肯定的な回答をしている児童の割合が低い。	・算数好きな児童を増やすことができるよう、肯定的な回答をしている児童の多い話し合い活動を取り入れた授業づくりを工夫する。 ・地域社会や地域の方との関わりはあるが、その関わりを「地域とのつながり」として実感している子どもは多くない。一つ一つの活動のねらいを子どもたちが理解し、地域との関わりについての意識づけを図っていく。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本校	松江市	島根県	全国
国語	64	63	62	63.8
算数	66	66	65	66.6

受検者数 105人  
 ※欠席率により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。